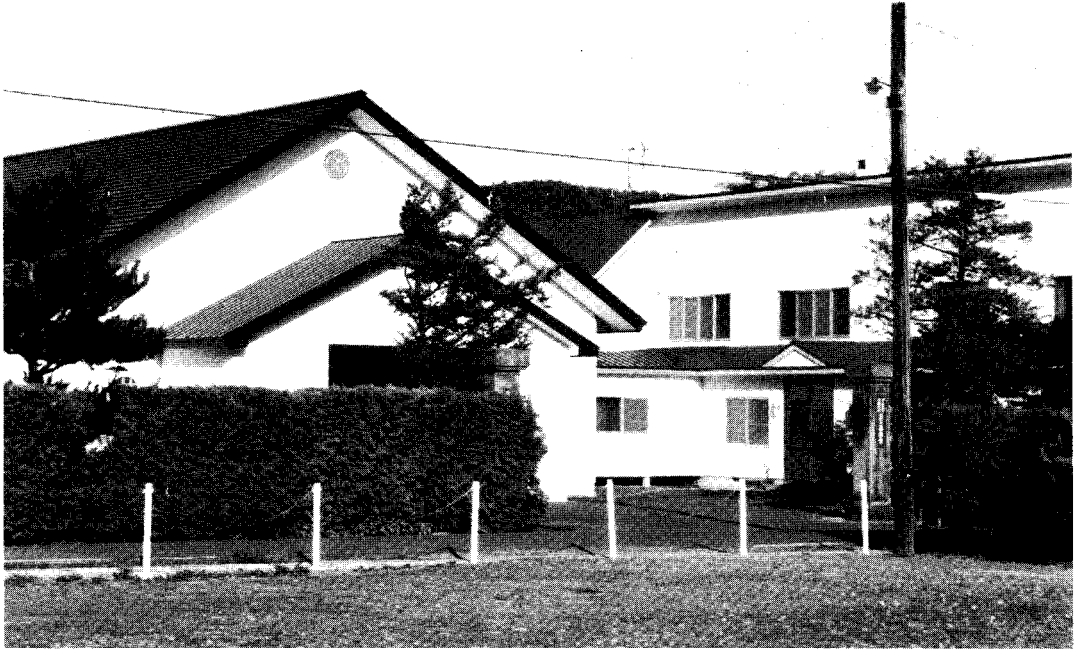


空知南組組報

# KUNAN



修徳山 善行寺 (寺院紹介はP 6)

# 大胆小心

解説はP 2にあります

# 取材旅行

(他組寺院に学ぶ)

■釧路本行寺さんを訪ねて■  
組報担当者の集まりで一度他組寺院の教化活動の実態を知りたい。同時に外から我組を見つめてみようと言うことになり今回旅に出ました。

取材先は、釧路本行寺さんです。以前から大変ユニークな教化活動をされているとの情報を耳にしましたので、すぐ決定。(中には釧路のいきのいいサンマの刺し身が食べられると不純な動機で賛成した担当者も?)。

十月七日、久し振りにJR電車に乗り出発。道中、これからの宗門の有り方、伝道教化等について口角泡を飛ばして(ビールの泡との噂も?)論議をしている間に釧路到着。その晩は、町のきらめくネオンサインに目もくれず、宿で後夜勤行の後おとなしく床につく。朝、熟睡のおかげで早く目があき、早速おあさじのおつとめに合うべく本行寺さんにタクシーで。話し

には聞いていましたが凄なお寺です。ご住職にお聞きしますと本堂は大正十五年に建てられたものとか、当時としては大変珍しい鉄筋コンクリート、一部右づくりの間口十五間、奥行き十七間正面二階建てのユニークな伽藍。総工費二十万円とか。この建築費の支払いが折しも大不況の渦中につづかり募財も底が付き、時の副住職さん(菅原覚也氏)は一家心中を考える程であったそうです。この苦境を大泊別院在任中であつた住職(菅原覚月氏)に訴えたところ

正々堂々たる借金は男子の本懐と思えと叱正の返信と共に「心小胆大」(心づかいはこまやかに、肝っ玉は大きく)の揮号が届き、これを仏間に掲げて座右の銘として歯を食いしばって借金返済、教化活動に情熱を燃やしたそうです。この額は仏間改装の際おろしてしまつたそうですが、現ご住職様は「心の中にいつも掲げています」



と語ってくれました。

成る程二時間余り、大変お忙しい中私達に時間をさいて下さりお話し、資料等を拝聴、拝見し本当に心こまやかな対応と配慮、そして大胆な発想がなされ、この言葉がしっかりと息づいてるなあと感じました。

又、本堂向拝口の横に石川啄木記念館がありました。彼は明治四十一年釧路新聞社に記者として着任、僅か七十五日間の滞在であつたそうですが「本行寺かるた会」に参加、これを御縁として現ご住職さんは啄木文庫や百人一首かるたづくりを発願され、毎年四月十

三日の啄木忌には、歌留多寺と名付けられたこの寺でかるた会が開かれているそうです。

以下、今回取材致しました本行寺さんの伝道教化の一部をご紹介します。各寺の活動のご参考にどうぞ!

## ■日常の教化活動■

本行寺の教化活動には、宗祖報恩講、宗祖降誕会、春秋彼岸会、春秋永代経、修正会、元旦礼拝など一般的に行われている行事法要はもちろん、別稿の「いちどの会」をはじめ本行寺門信徒会主催のバス遠足、夏休み現代っ子の集い、日曜礼拝、毎週お話が変わるテレホン法話、門信徒会々報の発行など、ユニークな活動がなされている。

恒例法要の降誕会は「親鸞聖人のお誕生を祝う集い」と案内し、慶讃法要、記念講演が行われ、境内では本行寺檀家のラーメン屋、仏具屋などがそれぞれ、バザーを開いて、参詣者を楽しませてくれるそうです。

バス遠足は日帰りですが、必ずどこかのお寺に立ち寄ることが約束され、遠足費用の半分近くは門

信徒会が補助しております。

日曜礼拝は、平日の法要であつては参詣出来ない方が多いのではと始めたもので、六十数名の参加があるということです。紙面の都合で紹介しきれませんが、教化活動の大部分の主催が本行寺門信徒会となっており、門徒の皆様が中心となる教化活動に取材者一同、おどろきです。

### □ ■ いちどの会 ■ □

本行寺にはちょっと変わった教化活動を行っている会がある。本願寺新報でも取材された「いちどの会」である。

あいさつ、讃歌合唱（衆会）にはじまり、第一部おはなし、第二部音楽鑑賞という二部構成、第一部はテキスト朗読（現代語訳「仏教聖典」）、本行寺住職菅原式也氏の法話、第二部で各分野の音楽。を聴いて一日の夕べを終わります。

一度きりの人生を大事に生きるために、お釈迦様の教えがやさしく説かれた現代語訳「仏教聖典」を通じて、人々の生活と心にふれながら生きた解答を学び、心の豊かさや平和な家庭と社会をつくりていきたいという住職・会員の願

いを基に、誰でも一度で良いから参加を待つ集いが「いちどの会」主催の『おはなしと音楽の夕べ』であります。



### □ ■ 報恩講 ■ □

真宗寺院にとって一年の最大の行事は、何といつても報恩講ですが、本行寺においても、一年の教化の成果を祖師にご覧いただき御礼を申す機会と最も大切な行事となっております。10月14日、16日までの報恩講には毎年大テーマを設定して三日七座のプログラム

を決め、毎座の集いのねらい、法話の題目を掲載した冊子「報恩講のしおり」が全門徒に配付され、各自の参詣する法座を選択できるように配慮されている。

因みに今年度のテーマは『信心の生活』で、「毎座の集いのねらい」とは、14日「親鸞さまをお迎えする集い・ふれあいの夕べ」、15日「おあさじ参り・親鸞さまのみ教えに聞く集い・「ともしび」と「私」をみつめる夕べ・16日「おあさじ参り・御満座の集いで、それぞれ「報恩について」「信心の生活とは、私が日々どううごくことなのか」「死ぬべき身」「念仏者の人生観・世界観」「人間について」「ありがたさについて」「本願に現代を聞く」という題目でした。また、初日には市内の老人ホーム『長生園』に於いて慰問伝道が行われたり、期間中、事前に募集した書道・絵画の奉讃作品展が開催され、各年齢層に幅広く開かれた行事となっております。ただ慣習として勤める報恩講ではなく、行事のもつ意義をはっきり門信徒に自覚させる事の大事さを学ばせて戴きました。

### □ ■ 葬儀 ■ □



様々な職種・年齢・宗教の人々が集う葬儀を大切な仏縁と考え、特に通夜の勤行は本行寺独自のお勤めが勤まっています。昭和56年、釧路組の新勤行編集委員会が発行した和語の法語を、1字1拍のリズムで読誦。法語は大経や本典の和訳をもとに、人間の姿・仏との出会い・迷いから悟りへ・信と生活というように、体系的にまとめられている。

初めての人でも法語を朗読してみ教えを味わうことができ、時々聖典をわけて頂きたいと求める人もあるという。



### ☆☆日校一泊研修会☆☆

7月6・7日の両日、昨年に引き続き砂川少年自然の家に於いて、標記研修会が開催された。2度目の当地でもあることから、生活のリズムはそれぞれが体得していたようだ。

### ☆☆仏青キャンプ☆☆

7月20日・21日、穂別キャンプ場、穂別町真光寺（久保田瑞真住職）を会所に、30余名の参加のもと開催された。中・高生・一般の参加者は、バーベキュー、ライブコンサート、久保田先生のお話等の日程の中に、自然の恵みの大切さ、集団生活を体感していた。

### ☆☆影絵、各寺報恩講へ引っ張りダコ？☆☆

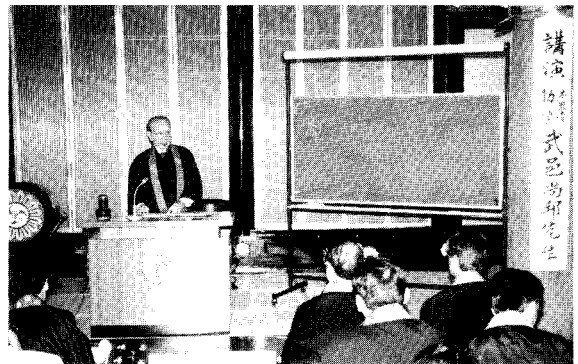
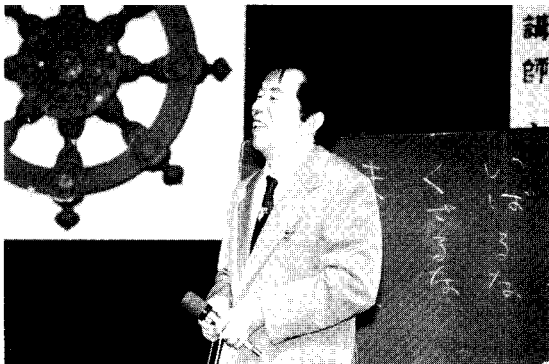
昨年より空南日校連協で活動されている影絵劇が、組内各寺報恩講で公演。上幌向・隆王寺を始め、5ヶ寺の公演を終了。第2作目へ向けて、準備中である。「お声さえかかれればいつでもどこへでも行かせていただきます」との事。

### ☆☆北藤会☆☆

今年度の北藤会総会が、空南会主幹により、10月23日～24日長沼町警報寺を会場に開催されました。初日は本願寺勸学・武邑尚邦先生の講演、次の日は“裸婦デッサン”と硬軟取り混ぜた有意義な研修でした。

### ☆☆空南会30周年☆☆

結成30周年を迎えた空南会は7月9日、山田博道先生とコメディアン玉川良一氏を講師に迎え、記念講演会を開催。会場の岩見沢市民会館には約1000人の聴衆が詰めかけ、あまりの熱気に用意した氷柱も間にあわず。



# テレホン

★美唄正教寺若院永岡龍乘氏が保護司に任命されました。

★由仁町三川の鶴林寺若院土井清信氏が、7月に帰寺致しました。今後のご活躍期待しております。

★美唄正教寺では本堂の屋根葺き替え工事が行われ、7月一杯で工事完了。銅板で葺かれた見事な屋根となりました。

★上砂川町証法寺の客殿が新築されました。樹齢200年のオンコの床柱や四季を表した見事な襖絵は一見の価値あり。

★長沼町誓報寺天野広道君（中学一年生）が7月27日から8日間、長沼の中学校を代表して、海外派遣団の一員として参加、アラスカの悠大な自然、現地の人々との交流、ホームステイを通して国際人としての知識を学んできました。

又、日本にはない氷河、初めて見たキングサーモン、初めて寝たウォーターベッド・・・全てが彼の今後の人生にとって、素晴らしい思い出・体験となることでしょう。

★報恩寺では門前の水田約300坪を購入し、駐車場を造成しており、来春より使用可能。40～50台の駐車が出来ます。

★上砂川町鶴の西法寺では、このたび庫裏・本堂が新築され、11月17日落慶法要が勤まりました。寺族・門信徒の喜びいかばかりか。おめでとうございませう。

★誓報寺百年史が発刊されました。B5番240ページの大作で、巻末には全門信徒の写真が掲載されたユニークな寺史となっております。

坪を購入し、駐車場を造成しており、来春より使用可能。40～50台の駐車が出来ます。

## 青少年部合同一泊

### スキー研修会ご案内

日時

1992年2月29日～3月1日

場所

富良野スキー場

宿泊場所

富良野市北の峰町14-3

### 『北 誠 荘』

(大理石大浴場あり)

寺院子弟、中高生並びに一般の方でもご参加下さい。楽しさ一杯の企画を用意して、お待ちしております。詳しくは改めてご案内致します。

# テレホン



## 『かくれ念仏の土地を訪ねて』

常光寺住職 杉田 英明

十二月を迎えると何かしら忙しさを感じ、一年の出来事が色々と偲ばれます。皆様は如何ですか。

過日、秋彼岸会の不思議な御縁で私は九州宮崎のお寺に出向き、深い感銘を得て帰りました。宮崎が鹿児島と共に旧薩摩藩とも知らぬ旅でしたが、百聞は一見に如かずの通りで学ぶ所が多く、今にしてても大変幸せであったと喜んでおります。

土地の八割の方々は皆御門徒である事に驚かされました。私のお世話になったお寺のお檀家は三千六百戸とのこと、お隣のお寺などは一万戸はあるうかとお聞きしました。

薩摩と言えば念仏禁制の地、私はお寺の車をお借りして、遺跡遺構の多い山の国町安楽寺を訪ねました。境内に残る殉教の碑そして責め道具の石などを前にし、昔のお同行の苦難を偲んだことであります。実に明治九年九月五日迄の約三百年の念仏弾圧の歴史故に、どこのお寺のはじまりも大体北海道と同じく、百年余りだということが先ず私には味あわれました。次には、何処を走ってもお西のお寺ばかりが目立つ意外さの通り、

明治まで、公に念仏も称えられなかったこの土地に、何故この様な現実があるのであるうか。解けぬ不思議さをかかえた旅でありましたが、歎異抄第二節の場面と親鸞さまのあの言葉だけは大きな緊張感と迫力を伴って、今も何かを語りかける様に私には重なり、思い出されて消えないのであります。

「オノオノ十余ヶ国ノサカヒヨコヘテ、身命ヲカヘリミズシテタズネキタラシメタマフ御ココロザシ、ヒトヘニ往生極楽ノ道ヲ問ヒキカシガタメナリ——詮ズルトコロ愚身ノ信心ニオキテハカクノ如シ、コノ上ハ念仏ヲトリテ信ジタテマツラントモ、マタステントモ、面々ノ御ハカライナリト云々」

# 知っ得コーナー

「ワープロの毛筆書体で手紙を出したくても、印字可能なふさわしい用紙がない。」

「わざわざ印刷屋さん頼まなくても、毛筆の案内状を和紙にコピーできないだろうか。」

ワープロ用紙としても、コピー用紙（手差しに限る）としても使える和紙が発売されました。

その名も『大礼紙』（コクヨ・Campus・ワープロ用和紙）。毛筆の書体が生きるお洒落な風合いの和紙です。

ワープロでの手紙の他、手工芸用紙、各種催物の案内状等、アイデア次第でいろいろにご使用いただけます。

B4・A4・B5の3サイズがあり、A425枚入りで三〇〇円。このシリーズには他に、手鹿和紙・改良和紙などがあります。ぜひ一度お試し下さい。

## 寺院紹介

● 福井県坂井郡本庄村より善行寺住職名和遊照師来道

● 明治33年3月幌内の布教に着手

● 明治36年12月説教所設置

● 明治41年1月善行寺寺号公称を受ける

● 明治41年5月本堂庫裏落成慶讃法要

● 明治45年庫裏増築

● 昭和22年2世住職力世師継承

● 昭和26年庫裏増築

● 昭和29年三世住職俊成師継承

● 昭和48年9月より三笠の地へ寺基移転、本堂庫裏落成慶讃法要

● 昭和52年四世住職健成継承

● 昭和55年法中部屋増築

● 平成元年庫裏増築



ご隣接地購入、庫裏増築と持前のバイタリテイと行動力（朝早くから弁当持参での月忌参り）で寺院の近代化に向けて走り回るご住職様。空知南組テレホン法話も開設時より聴取率No.1の座を堅持しています。（月忌参りの時におじい

ちゃん・おばあちゃんに十円玉をくばっているとの噂も？）

町の味覚として札幌ラーメンの元祖「鳥だし」のラーメンは他にはない独特の味だそうです。

桂沢湖の新緑、紅葉見学でお越しの折には是非お立ち寄り、ご賞味下さいとのこと。

## 私は誰でしょう

先代住職が「丈夫で長持ちしそうな娘」と一目惚れ。見合いの席で「なんと気のきく人」と思い、結婚を決断。昭和27年6月20日の写真です。あれから40年、世は変わり、人の心も変わって生きます。

（解答はP2下にあります）



## 編集後記

◇今まで組内の出来事を中心に紙面をつくってききましたが、

「たまには外に目を向けよう」「他組の活動に学ばせていただく」

「ついでにおいしい物を腹一杯食べよう」ということで、いきなり遠く釧路への取材を決行しました。

◇私達の勝手なお願いを快くお引き受け下さった本行皆様には大変お世話になりました。ありがとうございます。

◇とは書いてみたものの、残念ながら私自身は所用のため参加できず。秋刀魚の夢を見る今日この頃です。

(M・K)

一九九一年十二月一日号

編集 空知南組

基推委広報部

発行所

空知南組々長事務所